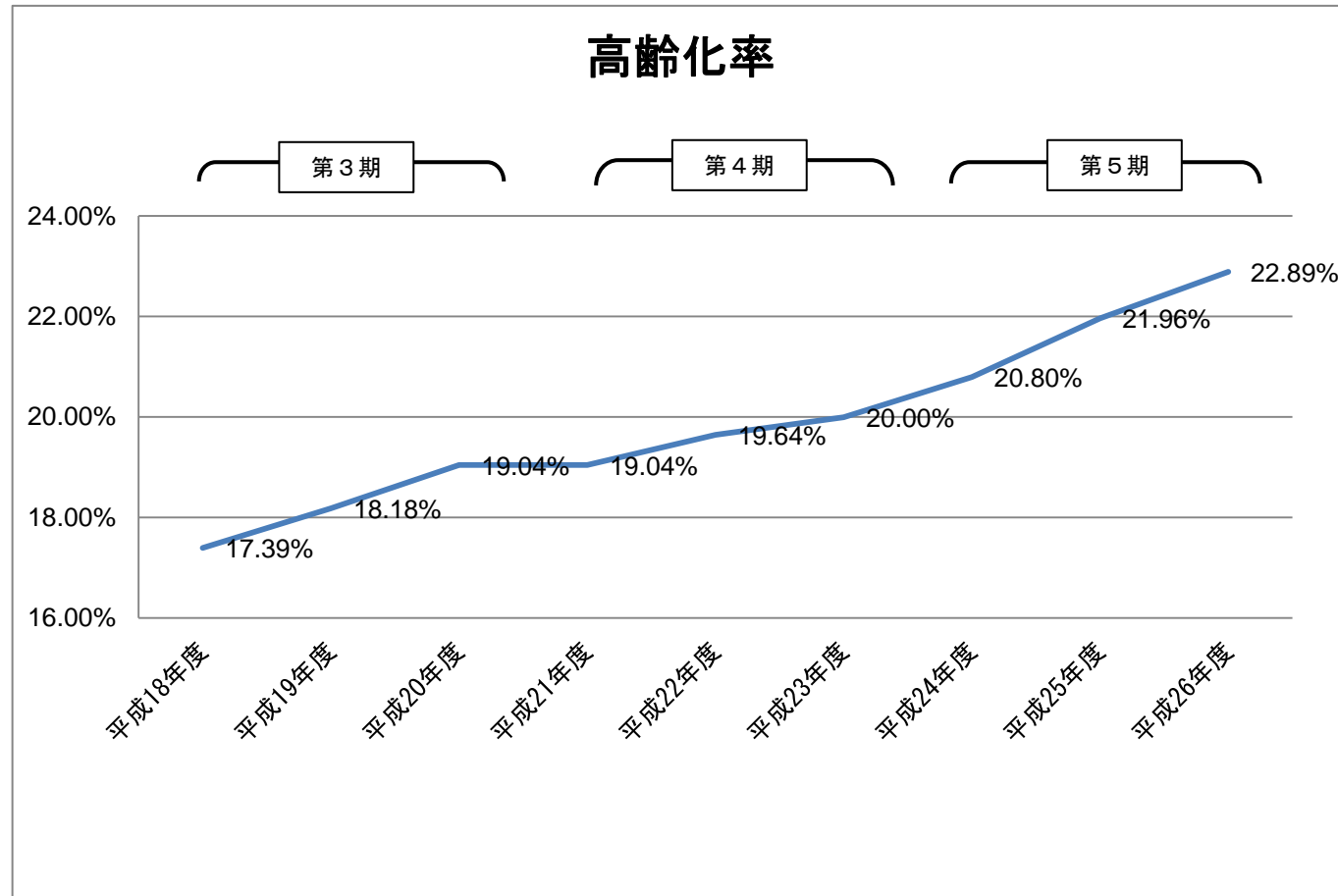
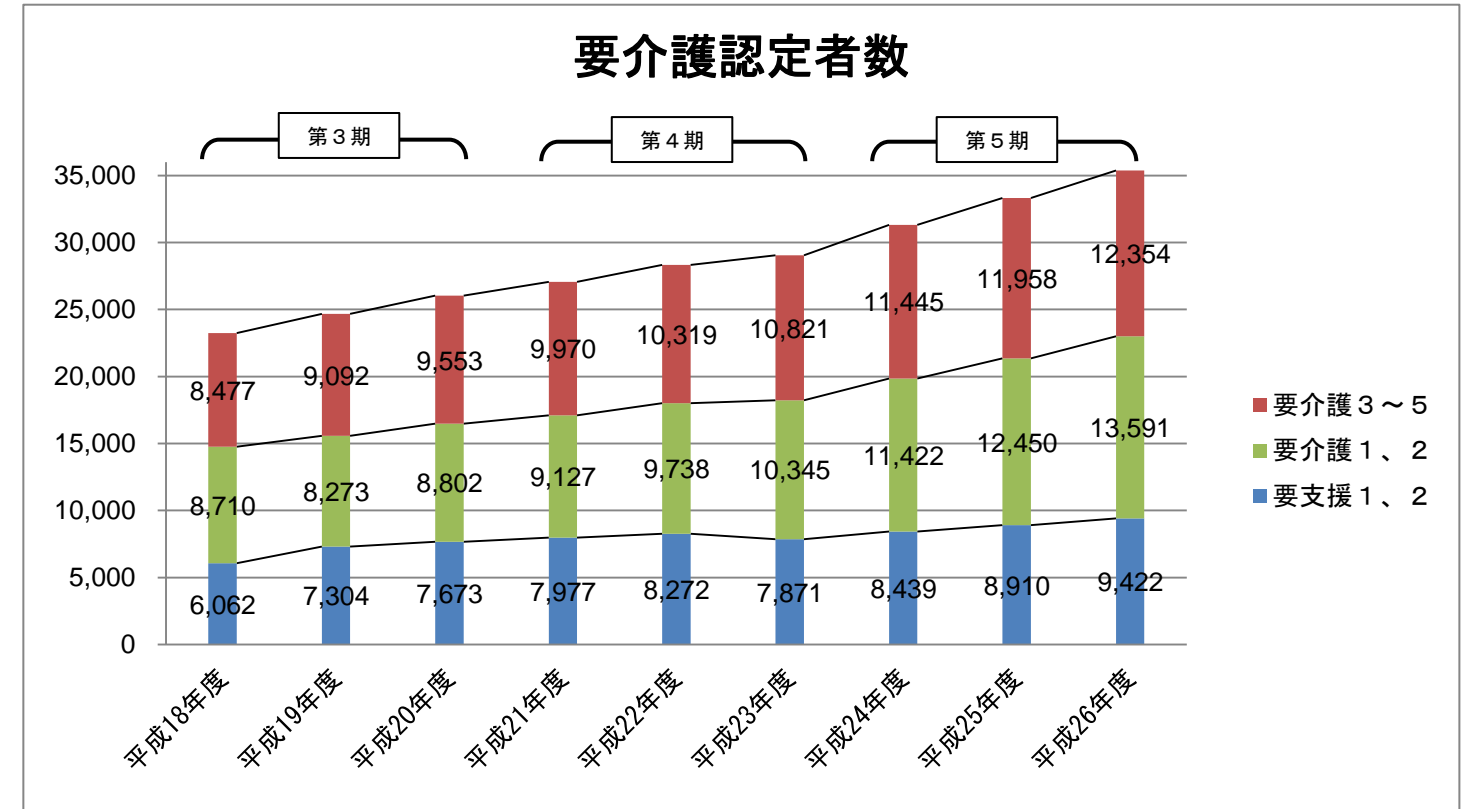
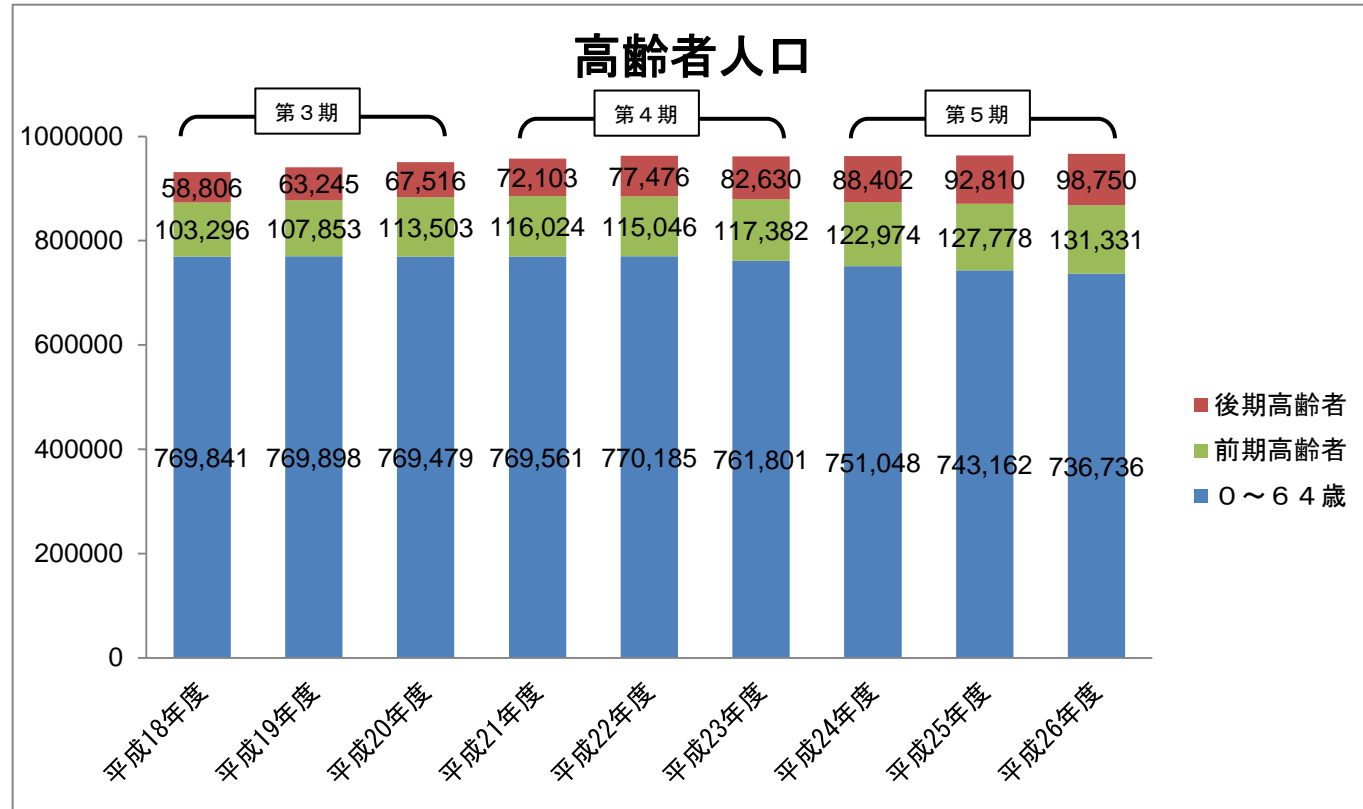


第3期～第5期（平成18～26年度）における高齢者人口等の推移



分析

これまでの推移 …… 高齢者人口の増加に伴って高齢化率、認定者数とも増加しているが、これまでは団塊の世代が前期高齢者であることから比較的健康的な高齢者が多かった。（認定率はここ数年14%程度で大きな動きはない。指針原案P.8参照。）

今後の見込み …… 今後は後期高齢者人口が急激に増加するため、認定者数の伸びが被保険者の伸びを大きく上回る。これに伴いサービス需要もこれまでになく伸びるものと見込まれる。（指針原案P.11-12参照。）

課題

- 介護保険制度の維持
 - ・介護予防の推進 → 介護費用の抑制 → 保険料上昇を抑え、高齢者の負担増にならないように
 - ・必要な介護人材、介護施設等の確保
- 地域包括ケアシステムの構築
 - ・在宅医療・介護連携体制や地域で支え合う体制等の早期構築と定着
- 生涯現役社会の構築
 - ・元気な高齢者が、地域の担い手として、いつまでも元気で生き生きと働ける社会づくり